

今月号の特集は薬疹です。丘疹紅斑型（湿疹型）薬疹に加え，中毒性表皮壊死症，乾癬型薬疹，固定薬疹，TNF- α 阻害薬による paradoxical reaction，アナフィラキシーなどが報告されています。薬疹の種類や原因薬は多様です。多形紅斑型，皮膚粘膜眼症候群型，薬剤誘発性過敏性症候群は重症化することがあり，十分な対応が求められます。そのほかにも急性汎発性発疹性膿疱症（acute generalized exanthematous pustulosis；AGEP）のように発熱を伴うものや，降圧薬による扁平苔癬型薬疹，糖尿病治療薬の DPP-4 阻害薬での薬剤誘発性類天疱瘡，抗瘍薬による手足症候群・爪甲や指趾の色素沈着，ステロイド内服による瘡瘡，ピルフェニドン（ピレスパ[®]）による光線過敏，ヒドロキシカルバミド（ハイドレア[®]）による潰瘍，EGFR 阻害薬による爪囲炎，ポリコナゾールによる日光角化症，G-CSF による Sweet 病や壊疽性膿皮症など，原因となる薬剤と症状との組み合わせがあるものもあります。特定の皮膚症状を薬疹として生じうる薬剤を記憶しておかないと，薬疹との関連を見落とすことにもなります。

免疫チェックポイント阻害薬は，切除不能の癌の治療予後を大きく変える画期的な薬剤ですが，免疫関連有害事象（immune-related adverse events：irAE）のひとつである薬疹には，斑状丘疹型皮疹のほかに，乾癬型，水疱型，苔癬型などがみられ，悪性黒色腫に使用される場合には白斑を生じることもあります。従来のアレルギー性の薬疹であれば，診断がつくと同時に，原則として原因薬剤は中止していましたが，irAE の場合には必ずしも薬剤を中止するのではなく，継続しながら AE をコントロールしていくことが望まれます。

薬疹の発症機序としては，薬剤に対するアレルギー反応がその中心ですが，薬剤誘発性過敏性症候群ではウイルスの再活性化との関係が議論されていたり，例えばアロプリノールでは HLA-B*58:01 のように，SJS や TEN などの発症と関連する HLA アリルが報告されるなどして，遺伝性の背景が知られるようになってきました。薬疹にウイルス治療を行ったり，HLA を確認してから処方を決めたりする時代が来るのかもしれませんが。医学の進歩に従って，薬疹の在り方も変化しています。さらなるメカニズムの解明が望まれます。

（林 伸和）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第 67 巻 第 7 号 6 月号

2025 年 6 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）
定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金
定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）
〔年間 13 冊（臨時増刊号，増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕
TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕
FAX 03(3813) 0288
ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005
広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権，翻訳・翻案権，上映権，譲渡権，公衆送信権（送信可能化権を含む），貸与権，二次的著作物への利用に関する原作者の権利は，金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088，FAX：03-5244-5089，E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。